

BTMU PAN ATLANTIC WEEKLY

Vol.16

【政治・経済トピックス】

《北米・中南米》

◎米国

◆ バーナンキ議長が雇用情勢に配慮した超低金利政策の継続を改めて示唆、二番底の可能性は否定

3月26日、全米企業エコノミスト協会(NABE)で講演したバーナンキ米連邦準備制度理事会(FRB)議長は、雇用情勢を依然厳しいとの見方を示し、状況を改善するためにも現状の金融緩和は継続し、企業生産と個人消費の回復を加速させる必要があると述べた。

また議長は2月時点の失業率8.3%は高過ぎると指摘、労働市場の一段の改善には雇用ペースを上げることが必要であり、FRBの金融政策がその下支えをするとの見解を示した。

これらの発言は、米国景気が徐々に回復傾向を鮮明にしているものの、今後も相当の期間(2014年末までとは限らず)、超低金利政策を維持する考えがあるという意味に一部では受け止められ、FRBが第三次量的緩和(QE3)措置を打ち出す可能性が高まったという見方まで金融市場では出ている。

翌3月27日のテレビインタビューで議長は更に、追加金融緩和策の可能性について問われると、「選択肢は排除していない」と答え、経済動向次第では追加の金融緩和もあり得ることを強調し、前日の議長発言に関する市場の見方を裏付けした。

☑ ポイント

これらの金融緩和継続の必要性を主張した発言を好感し、米国株式市場では、S&P500指数が2009年以降の高値を再度更新し、2012年1-3月のQTベースでは12%の高い上昇を記録するのを手助けした。また金融緩和継続の観測から、金・原油市場も反発している。一方米国債市場では、バーナンキ議長発言を受けて、今後インフレが加速するとの観測が強まり30年債利回りが上昇するなど、金融緩和の副作用に注目が集まっている。FRBメンバーの中でも追加金融緩和に賛成と反対の意見が渦巻く中、市場との対話を重視するFRBが明確な金融政策のシグナルを送るかという点で、4月24日・25日の連邦公開市場委員会(FOMC)に注目したい。

◎ブラジル・ロシア・南アフリカ(BRICS)

◆ BRICS 銀行創設に向けた検討で一致、米欧主導の国際金融システムへの対抗軸として

3月29日、インドのニューデリーで開かれていた新興5カ国(BRICS:ブラジル、ロシア、インド、中国、南アフリカ)首脳会議は、途上国のインフラ整備などを支援する独自の開発銀行創設を検討することなどを織り込んだ「デリー宣言」を採択し閉幕した。

BTMU PAN ATLANTIC WEEKLY

開発銀行は BRICS が出資して創設し、インフラ整備資金を支援することを目的としているが、国際通貨基金 (IMF) における途上国の影響力が小さく、必要な開発資金が確保できないことに加え、IMF トップ人事を欧州が独占する運営方針にも不満が高まっていたことなどがその背景にあるといわれている。

BRICS は同銀を創設することで、欧米の影響力を背景に IMF や世界銀行が主導してきた国際金融システムとは別の枠組みで、BRICS 独自の開発支援の枠組みを作り上げたいとの狙いがある。

また、今回の BRICS 首脳会議では、先進国の緩和的金融政策が国際原油・商品市場を不安定にしている元凶と非難しているほか、イランやシリアに対し欧米で広がりつつある制裁強化の動きについて、国連を無視した対応だと批判するなど、経済のみならず政治面でも欧米への対立軸としての BRICS の立場を強めている。

☑ ポイント

BRICS 内では、政治体制の違いや各国の事情が複雑に絡んでおり、5 カ国が協調政策を遂行する能力を疑問視する向きもある。
例えば、経済規模で他の4カ国合算と等しい中国がリーダーシップを採ることに意欲的なのとは対照的に、インド・ブラジル・ロシアなどは中国が新銀行人事の重要な部分を独占して、自国に有利な政策を優先して進めるのではないかと警戒感も出ている。
このような事情を抱え、実務レベルでの議論を踏まえ、「BRICS 銀行」が実際に創設されるまでには、更なる紆折が予想される。

《欧州・ロシア・中東・アフリカ》

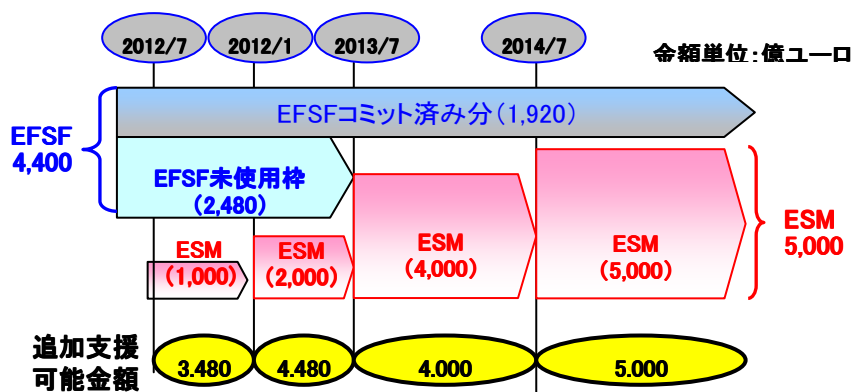
◎EU(欧州連合)

◆ユーロ圏財務相会合で金融安全網につき合意、早くも金融市場では「迫力不足」との評価も

3月30日、欧州連合(EU)のユーロ圏財務相会合で、欧州債務危機に対応した金融安全網[欧州金融安定化基金(EFSF)及び欧州安定機構(ESM)]の強化について協議し、安全網の規模を約7,500億ユーロとすることが合意された。

7,500億ユーロの内訳は、2013年6月末までの期間限定で設定された欧州金融安定化基金(EFSF)の4,400億ユーロの一部2,480億ユーロと、2012年7月に前倒設立される欧州安定機構(ESM)5,000億ユーロ。EFSFからは既に1,920億ユーロ

の融資がギリシャ・アイルランド・ポルトガル向けとしてコミットされていることから、新規融資可能額は最大でも2,480億ユーロで、2013年6月末には枠は廃止の見込み。



BTMU PAN ATLANTIC WEEKLY

これに並行してESMは2012年7月から順次拡大されるが、各国拠出金は分割払い込みとするとしている。

この結果、真水部分(EFSFとESM合算での融資可能額)は段階的に3,500億ユーロから5,000億ユーロに段階的に増やされるものの、最終的に5,000億ユーロの融資枠を確保するのは2014年7月以降とされている。

一部マスコミでは「安全網の拡大」と伝えられているが、現時点では想定されていないポルトガル・スペイン・イタリア向けに何らかの新規金融支援が必要となった場合、支援可能な真水金額は最大で5,000億ユーロに止まるため、金融市場からは「欧州独自の金融安全網としては不十分」との声が早くも出ている。

欧州安全網をユーロ圏が自前で強化することについては、国際通貨基金(IMF)のユーロ圏支援融資枠拡大を議論するための前提条件とされているが、今回の5,000億ユーロでの決着を受け、主要20カ国・地域(G20)が次回ワシントン会合でIMF融資枠拡充の議論に入るかどうかは不透明と言わざるを得ない。

☑ ポイント

欧州金融安全網を巡っては、ギリシャより経済規模が大きいイタリアやスペインに危機が波及するといった“不測の事態に備える”には、ESMの5,000億ユーロでは金額が足りないため、G20を始め一部ユーロ圏主要国からESMを1兆ユーロ規模へ拡大すべきとの主張がされていた。然乍、主に南欧諸国の財政モラルハザードを懸念し、「安全網拡充=ドイツが最大の追加負担」の構図に反発するドイツ国内世論に配慮せざるを得ないドイツ政府筋がこの案を拒否したため、本格的な拡大の議論は見送りとなり、説明に技巧を凝らした合意内容になったと思われる。2012/3末~2014/12末までに、償還が到来する国債元利払い金額は、ポルトガルで約600億ユーロ、スペインで約3,500億ユーロ、イタリアで約7,000億ユーロと言われている。スペイン財政赤字問題に焦点が移りつつある中、今回の“ギミック”とも言えるユーロ圏の結論で、G20各国や金融・債券市場が納得するか、今後出てくる評価コメントに注目したい。

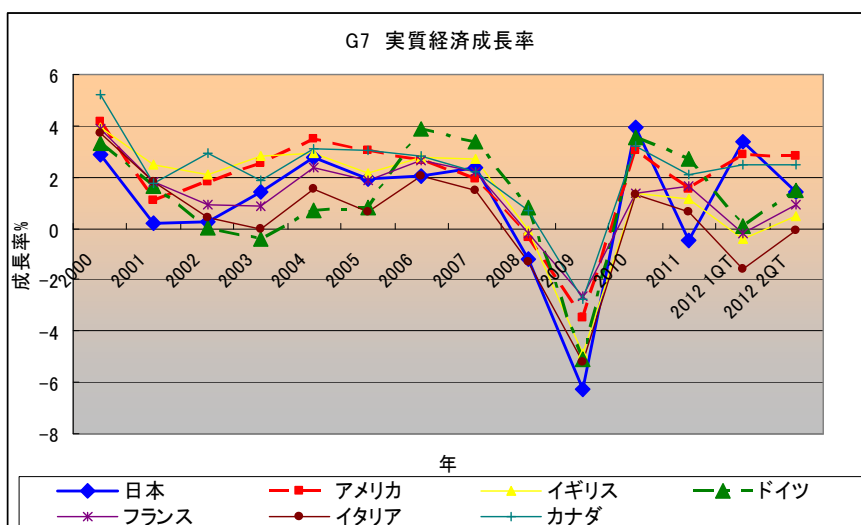
◎欧州(英国・イタリア・フランス・ドイツ)

◆2012年上期のOECD見通で欧米景気の明暗が分かれる、欧州は低迷も米国は回復傾向が鮮明

3月29日に経済協力開発機構(OECD)が発表した今年上半期の先進7カ国(G7)の経済見通しによると、G7経済は総じて弱いながらも回復に向かっていると見られる。

その中で、米国の成長率は安定的に2%後半(年率換算、季節調整済み)で堅調推移する見込みであるのに対して、ユーロ圏のドイツ・フランス・イタリアはギリシャ債務危機問題が

尾を引き、ドイツにおいても前半の1-3月に成長率がプラス0.1%にまで減速を予想するなど、米国とは明暗を分ける見通しである。



BTMU PAN ATLANTIC WEEKLY

一方震災後の復興需要が見込まれる日本は、第1四半期 GDP 成長率は、2011年11月時点から1.6%上方修正され、「エコカー」・「エコポイント」などの財政出動で景気浮揚を図った2010年以来の3%台を見込んでいる。

☑ ポイント

OECDは毎年5月と11月に加盟国の経済予測をまとめるが、今回はその中間評価との位置付け。ギリシャ債務危機問題の影響でリセッション入りすら懸念される欧州と、早期金融緩和解除が議論されるほど景気回復が顕著になった米国でクッキリと明暗が別れる結果となった。欧州では、経済成長戦略の議論が不在との意見が広がる中、ドイツを除いて深刻な経済状況の中で更なる財政緊縮を行おうとしている。これが一層の不景気をもたらす可能性が指摘されている。

◎セネガル

◆大統領選挙で現職が敗れマッキ・サル新大統領が誕生、投開票に伴う混乱もなし

3月25日、西アフリカに位置するセネガルで大統領選決選投票が行われ、憲法で禁止されている3選を目指していた現職ワッド大統領を下し、サル元首相が新大統領の座を獲得した。

ワッド氏が憲法で禁じられている大統領3選の規定に反して出馬した今回の大統領選挙では、首都ダカールなどで反大統領暴動激しい抗議が起きていた。

大統領選挙で政権交代が決まった後も現職ワッド大統領陣営が敗北を認めなければ、再び社会が混乱するとの懸念もあったが、同氏が早々と敗北を認めてサル元首相に電話で祝辞を伝えたことで混乱は回避された。

地元紙も早々に敗北を認めたワッド大統領の行動を「荣誉ある撤退」と称賛、オバマ米大統領も「良い統治と民主主義が機能した見本だ」と高く評価するコメントを発表している。

☑ ポイント

セネガルは西アフリカの中心国の一つで、1976年以来複数政党制をとるなど政情も極めて安定しており、アフリカで最も民主主義が進んでいる、「アフリカ民主化のモデル」と言われてきた。折から隣国マリで軍事クーデターが発生するなど不安が高まる中、アフリカが今後近代化に向けた域内開発を加速化させるためには政治体制の安定化が重要な課題であり、EUから派遣された選挙監視団も「確固たる民主主義国家としての信用」を示すように同国政府に求めている。現在は世界銀行・IMFの支援の下、構造調整や経済改革に取り組んでいる。極めて親日的と言われるため、今後日系企業が西アフリカ地域の市場調査拠点を設立するニーズが高まった際には、治安が不安定な周辺国に代わって活動拠点を設立する候補国となる可能性がある。因みに首都ダカールは、「パリーダカール(自動車ラリー)」や「ダカールトウルーズ(サン・テグジュペリが航空定期便パイロットとして飛行)」など、旧宗主国フランスとの結びつきで現されることが多く、ある意味で有名な都市である。

※ロシアに関するレポートについてはこちらをご参照下さい⇒[ロシア金融経済週報](#)

BTMU PAN ATLANTIC WEEKLY

【先週の企業動向】

《北米・中南米》

| 企業名 | 業界・業種 | 国・地域 | 摘要 |
|-------------|-------|------|----------------------------------|
| ポリプラスチック(日) | 化学 | 米国 | アプローチ強化のため、販売会社設立を発表。 |
| 日揮(日) | 建設 | 米国 | 天然ガス田の生産開始を発表。 |
| 住友電気工業(日) | 非鉄金属 | 米国 | 米エムコア社より化合物半導体デバイス事業の買収を発表。 |
| 住友商事(日) | 総合商社 | 米国 | 鉄道車両品販売会社の設立を発表。 |
| 三菱商事(日) | 総合商社 | カナダ | オンタリオ州マラソン PGM 鉱山プロジェクトの権益取得を発表。 |
| 本田技研工業(日) | 輸送機器 | メキシコ | 新四輪工場の建設開始を発表。投資額は約 640 億円。 |

《欧州・ロシア・中東・アフリカ》

| 企業名 | 業界・業種 | 国・地域 | 摘要 |
|----------|-------|-------|-----------------------------|
| 日立製作所(日) | 電気機器 | 欧州 | 空調ビジネス強化のため、新会社設立を発表。 |
| 住友商事(日) | 総合商社 | 欧州 | 伊シプカム社との欧州における戦略的資本提携を発表。 |
| 安川電機(日) | 電気機器 | 南アフリカ | 拡販・サービス強化のため、出資会社の子会社化を発表。 |
| 良品計画(日) | 小売 | クウェート | 現地企業とライセンス契約を結び、第一号店の出店を発表。 |

(注: 一般メディア報道・プレスリリース等の公開情報に限定)

【先週の外国為替・金融市場動向】

| 通貨ペア(*1) | 為替相場(*2) | | | | 主要金利(%) (*3) | | | 株価(*4) | | |
|-------------|----------|-------------------|---------|--------|--------------|--------|--------|-----------|-----------|-----------|
| | OPEN | レンジ | CLOSE | 週間騰落率 | 前々週終値 | 先週末終値 | 終値騰落差 | 前々週終値 | 先週末終値 | 終値騰落差 |
| ユーロ | 1.3263 | 1.3193 ~ 1.3385 | 1.3316 | 0.40% | 0.264 | 0.277 | 0.013 | 6,995.62 | 6,946.83 | -48.79 |
| ユーロ/円 | 109.21 | 108.77 ~ 111.25 | 109.58 | 0.34% | - | - | - | - | - | - |
| 英・ポンド | 1.5862 | 1.5801 ~ 1.6037 | 1.5984 | 0.77% | 0.555 | 0.557 | 0.002 | 5,854.89 | 5,768.45 | -86.44 |
| ポーランド・ズロチ | 4.1550 | 4.1222 ~ 4.1705 | 4.1535 | 0.04% | 4.400 | 4.170 | -0.230 | 41,020.45 | 41,267.16 | 246.71 |
| ハンガリー・フォリント | 293.33 | 290.30 ~ 297.25 | 294.90 | -0.53% | 6.322 | 6.202 | -0.120 | 19,047.49 | 18,635.67 | -411.82 |
| チェコ・コルナ | 24.624 | 24.530 ~ 24.915 | 24.860 | -0.95% | 0.650 | 0.500 | -0.150 | 988.00 | 973.10 | -14.90 |
| 南アフリカ・ランド | 7.6950 | 7.5484 ~ 7.7801 | 7.6750 | 0.26% | 5.100 | 5.050 | -0.050 | 29,716.93 | 29,603.42 | -113.51 |
| トルコ・リラ | 1.8000 | 1.7765 ~ 1.8015 | 1.7829 | 0.96% | 11.000 | 12.000 | 1.000 | 61,417.44 | 62,423.04 | 1,005.60 |
| ロシア・ルーブル | 29.292 | 28.850 ~ 29.543 | 29.470 | -0.60% | 4.750 | 5.750 | 1.000 | 1,675.28 | 1,639.88 | -35.40 |
| メキシコ・ペソ | 12.7300 | 12.6150 ~ 12.8885 | 12.8100 | -0.62% | 4.500 | 4.500 | 0.000 | 38,334.90 | 39,521.24 | 1,186.34 |
| ブラジル・リアル | 1.8105 | 1.8032 ~ 1.8365 | 1.8250 | -0.79% | 9.750 | 9.750 | 0.000 | 65,812.95 | 64,510.97 | -1,301.98 |
| アルゼンチン・ペソ | 4.3640 | 4.3615 ~ 4.3770 | 4.3770 | -0.30% | n/a | n/a | n/a | 2,711.87 | 2,683.99 | -27.88 |
| チリ・ペソ | 487.00 | 485.25 ~ 490.40 | 488.10 | -0.23% | 5.000 | 5.000 | 0.000 | 4,617.69 | 4,671.28 | 53.59 |

(*1)ポーランド・ハンガリー・チェコ通貨は「対ユーロ」レート。それ以外は注記無き場合には「対米ドル」レート。ルーブルは気配値。

(*2)終値はロンドン時間16時時点。

(*3)翌日物金利の週末引け値。小数点4位以下四捨五入。

(*4)地場市場の終値。ユーロ市場は独DAX市場。

※ 外為・金利市場に関するレポートについてはこちらをご参照下さい⇒[マーケット情報](#)

BTMU PAN ATLANTIC WEEKLY

【今週注目の指標及び予定】

| 月/日 | 指標・イベント | 前回 | 予想 | 指標の見方・ポイント |
|-----|--|-------|-------|----------------------|
| 4/2 |  ユーロ圏 2 月失業率 | 10.7% | 10.8% | 南欧で悪化する雇用情勢に注目。 |
| 4/3 |  FOMC 議事録公表 (3/13) | - | - | FOMC メンバーのコメントを再確認。 |
| 4/4 |  ユーロ圏 2 月小売売上高(前月比) | +0.3% | -0.2% | 個人消費の動向を確認。 |
| 4/4 |  欧州中銀金融政策発表 | 1.00% | - | 追加金融緩和策についてのコメントに注目。 |
| 4/6 |  米 3 月失業率 | 8.3% | 8.3% | 雇用回復傾向を示す指標が出るか。 |

☑ ポイント

米国/バーナンキ FRB 議長の発言で、早期の金融引き締めは遠のいたと受け止められている。雇用改善のペースは緩やかであり、依然として失業率は高いというのがその背景にある。経済指標が景気鈍化を示す内容となれば、金融緩和観測が強まり、ドルは売られ易い展開となろう。

欧州/先週はスペイン政府が大幅な財政カットを織り込んだ予算案を提出したことを好感、外国為替市場では久々にユーロがドルや円に対して上昇する展開となった。ユーロ圏財務相会合での金融安全網に関する合意も暫くはユーロの支援材料となろうが、週央の欧州中銀理事会で政策金利の引き下げが実施されれば、ユーロの地合が変調する可能性は大であろう。

※ 今週の予定についてはこちらをご参照下さい→[主要経済指標の発表予定等](#)

【今週の「キーワード」】

|| ✓ 今週のキーワード:「コバルト・リッチ・クラスト」

|| **コバルト・リッチ・クラスト**とは、直訳すれば「コバルトが豊富な硬い表層」ですが、海水中の金属成分が水深 800—2,400m の海底に露出する固結岩石に付着して出た厚さ数 mm から十数 cm のコバルト酸化物の被覆物を言います。

|| マンガンがジャガイモ上に固まった団塊の一種で、特にコバルトに富むマンガン酸化物を「コバルト・リッチ・クラスト」と呼び、マンガン、銅の他ニッケル、コバルト、白金などのレアメタルやレアアース(ネオオジウム、ジスプロシウム)を含有しています。

|| その歴史は 1970 年代末に米国を中心に調査が開始されたことに始まり、深海底鉱物資源として注目されるようになりました。

|| そして 1980 年代にはマンガン団塊に比べて高品位のコバルトを含有するクラスト鉱床が多数発見されるようになりました。

|| 日本では 1987 年から太平洋上で基礎調査が開始され、日本最東端の島・南鳥島周辺海域に鉱床が多く分布することが分かり、2011 年度から国家プロジェクト(政府直轄事業)に切り替わっています。

|| レアメタルやレアアースの輸入依存度が高い日本にとっては、「コバルト・リッチ・クラスト」は正に“宝の山”と言え、今後の開発促進に期待がかかりますが、これを狙っているのは日本だけではありません。

|| 中国は、2004 年から日本最南端の島・沖ノ鳥島を「島」ではなく「岩」と主張し、日本の排他的経済水域の設定を変更しようとしています。この背景には同海域のコバルト・リッチ・クラストの存在があるとも言われています。

本資料は、信頼できると思われる各種データに基づき作成しておりますが、当行はその正確性、安全性を保証するものではありません。また本資料は、お客さまへの情報提供のみを目的としたもので、当行の商品・サービスの勧誘やアドバイザリーフィーの受入れ等を目的としたものではありません。

(編集・発行) 三菱東京 UFJ 銀行 国際業務部

Tel 03-5252-1648